

## 松島町教育委員議事録（令和4年7月定例会）

- 1 招 集 月 日 令和4年7月29日（金曜日）
- 2 招 集 場 所 松島町役場庁舎 302会議室
- 3 出 席 者 内海俊行教育長、鈴木康夫委員、安倍七恵委員、佐藤晴子委員、小澤晴司委員
- 4 説明のため出席した者  
千葉忠弘教育次長兼課長、岸淳一学校教育班長、赤間香澄中央公民館長、熊谷賢学校給食センター所長、三品隆教育指導専門員、泉田成美技師（学芸員）、金津晶子学校教育班主査、
- 5 議 事 日 程
  1. 開会 令和4年7月29日（金曜日）午前9時45分 開会 （録音開始）
  2. 前回委員会の議事録の承認
  3. 議事録の署名委員の指名 佐藤委員・小澤委員
  4. 報告事項
    - (1) 大雨災害に係る被害報告
    - (2) 一般事務報告
    - (3) 教育長報告
  5. 協議事項
    - (1) 令和4年度（令和3年度対象）松島町教育委員会行政点検評価報告書に係る教育に関し学識経験を有する者の知見の活用について
    - (2) 令和4年8月定例会について  
日程案：令和4年8月26日（金）午前9時00分 松島町役場3階 301会議室
6. その他
7. 閉会

## 6 議 事 録

### 1. 開会 午前9時45分

〔金津主査〕では、改めましておはようございます。（「おはようございます」の声あり）

これから松島町教育委員会会議令和4年7月定例会を開会いたします。

開会の挨拶を内海教育長、お願いいたします。

〔内海教育長〕はい、おはようございます。（「おはようございます」の声あり）

子どもたちも夏休みに入り、事故の報告もなく健やかに過ごしているんだろうと思います。ただし、コロナ感染者が昨日2,700人くらいでしたか、ちよくちよく出てきている状況で、他市町村と比べるとそんなにはと思うのですが、松島も13人、12人、10人といった数で、結構大変な状態になってきております。

夏休みに入る前に、保護者の方々には十分子どもたちの体調には気をつけて過ごしていただくよう声がけてはいるのですが、夏休み明け、どうなるかなと思っております。危ないなと思ったら、校長先生方には電話をかけてくださいねというお話をしました。

それから、先ほど鈴木先生から今日お話がありましたけれども、全国学力状況調査の結果が出てまいりましたので、それについては後でお話しさせていただきたいなと思っております。

とにかく1学期は、子どもたちはよく頑張った学期でないかなと思いますので、これからもまたご支援賜りますようお願いいたします。

簡単ですが、挨拶といたします。

〔金津主査〕ありがとうございました。

### 2. 前回委員会の議事録の承認

〔金津主査〕続きまして、2番、前回委員会の議事録の承認につきまして、6月定例会の議事録について、配付のとおり承認ということでよろしいでしょうか。（「はい」の声あり）ありがとうございます。

それでは、定例会終了後に鈴木委員と安倍委員に署名をお願いしたいと思います。よろしくをお願いいたします。（「はい」の声あり）

### 3. 議事録の署名委員の指名

〔金津主査〕続きまして、3番、議事録署名委員の指名となります。

今回は佐藤委員と小澤委員をお願いしたいと思います。よろしくをお願いいたします。

### 4. 報告事項

#### (1) 大雨災害に係る被害報告

〔金津主査〕続きまして、4番、報告事項に移ります。

(1) 大雨災害に係る被害報告につきまして、千葉次長よりお願いいたします。

〔千葉教育次長兼課長〕はい。それでは私のほうから、7月15日、16日の大雨による松島町被害状況等について説明させていただきます。主に教育委員会に関する部分を中心に説明させていただきます。

お手元に別添の資料を配らせていただいておりますので、こちらをご覧になりながらお話を聞いていただければと思います。

この資料なのですが、まず令和4年7月27日18時現在のものですので、今後、被害の状況など数値が変わることがございますので、この点について、まずご了承のほどお願い申し上げます。

7月15日午後10時頃から、皆様もご承知のとおり雨脚がすごく強まってきました。11時3分、大雨警報・洪水警報が発令され、11時37分に我々職員も参集指示がかかったところでございます。

それから翌日2時4分には、今まで耳にしたことのない警戒レベル5、緊急安全確保の指示が出されました。これは、既に安全な避難ができず命が危険な状況のため、自宅の2階に避難するなど身の回りの安全を確保するという状況の際に出される指示となっております。

それから、雨が明け方につれ小康状態になってきたこともありまして、午前6時、教育長指示の下、各幼稚園長、小学校・中学校の校長に、身の安全を確保できることを前提に学校等の被害状況を確認するよう指示を出しました。およそ午前9時の時点で、各園・各校より建物等の被害はない旨の報告がございました。

同じ時期に、教育委員会職員においても町内の各教育施設、体育施設の被害確認を行い、こちらも大きな被害はございませんでした。

次に、19日火曜日が子どもたちの登校日に当たるのですが、この子どもたちの通学に当たり、通学路の安全点

検を各校長に指示したところでございます。各校ともに18日の祝日に点検を実施し、ほぼ安全が確保できているという報告がありまして、19日は通常授業を行うという判断をしたところでございます。

しかしながら、ここで1点、難点がございました。この資料にも、2ページに記載しているのですが、交通の面で、鉄道・町民バスですが、JR及び町民バスが18日の時点で運休で、19日も見通しが立たないという状況でございました。各学校から、JR・町民バスを使っている子どもたちの家庭に電話、メール等で、保護者の送迎が可能なお宅へは協力を求めながら、それぞれ代替バスの運行計画を教育委員会で立てました。

結果、JRにつきましては19日朝から通常運行が行われ、品井沼駅から通っている中学生については、いつもどおり電車での通学が可能となりました。ただし、町民バスは運休ということで、足の確保ができない中学生4名を、最寄りのバス停から中学校まで、代替バスでの送迎を実施したところでございます。

併せまして、バス停等で困っている子どもがいないか、また危険な箇所を通っている子どもはいないかなどの確認のため、教育委員会3班体制で、19日朝7時から町内一円の巡回を実施したところでございます。その際は、困っている子どもたちはいない状況でございました。

併せまして各学校においても、若干道路が傷んでいるところがありましたので、そういうところに先生方が立ち、子どもたちを迎えたというところでございます。

翌日20日水曜日から町民バスも通常運行ができて、無事1学期終業式を迎え夏休みに入れたところでございます。

以上、報告させていただきます。終わります。

〔金津主査〕ただいまの報告につきまして、ご質問等ございますでしょうか。

## (2) 一般事務報告

〔金津主査〕続きまして(2)一般事務報告につきまして、学校教育班からお願いします。

〔岸班長〕はい。学校教育班の行事報告からご説明いたします。資料1ページをご覧ください。

主な行事について説明いたします。

6月28日、令和5年度入試制度保護者説明会を開催しております。宮城県の高次教育課から指導主事の先生を講師として開催しております。保護者40名、中学校教員3名が参加しております。

7月15日、塩釜地区教科用図書採択協議会が開催され、先ほど臨時会で承認していただいた令和5年度の使用教科用図書の協議を行っております。

7月16日、第34回吹奏楽コンクール多賀城・石巻地区大会が行われました。大雨の次の日ということで、会場到着にもかなりの時間がかかる悪条件でしたが、見事金賞を受賞し県大会出場を決めております。

7月20日、各小学校・中学校、それから資料のほうで幼稚園の名称が抜けておりましたが、幼稚園でも1学期の終業式が行われ、子どもたちは長い夏休みに入っております。

7月21日、こども英語ガイドオリエンテーションを行っております。8月24日までの間で9日間活動を実施し、松島を紹介する動画を英語で作成する予定となっております。

7月22日から25日まで、中体連の県大会が行われました。地区大会を勝ち進んだ8競技が参加しております。その中で、サッカー部が見事準優勝となりまして、東北大会出場を決めております。

7月26日、町教育講演会を実施しております。今年度は、東北福祉大学のファン先生を講師として「気になる子どもの理解と支援」と題した特別支援教育に関する講演を行いました。保護者12名、教員・職員65名の77名が参加しております。

行事報告については以上となります。

続いて行事予定です。資料2ページをご覧ください。

主なものについて説明いたします。

8月1日、宮城県吹奏楽コンクールが開催されます。会場は、地区大会と同じく石巻市のマルホンまきあーとテラスになります。

あと、こちらに記載がありませんが、先ほど報告したサッカーの東北大会が8月3日から福島県楡葉町のJヴィレッジで開催されます。

8月8日から15日までの間は学校閉庁日となりまして、学校の先生方が誰も学校に登庁しない日となります。

8月26日、各小中幼稚園で2学期の始業式を行う予定となっております。

学校教育班からは以上となります。

〔金津主査〕続きまして、学校給食センターお願いします。

〔熊谷所長〕それでは、3ページ目をご覧ください。

学校給食センターの行事報告をさせていただきます。

期間は令和4年6月25日から7月29日までとなっております。

7月19日火曜日は、大雨による災害による被害が設備等にはなかったこともありまして、無事に1学期最後の給食を提供することができました。

行事予定としましては、7月30から8月26までとなっております。

8月26日金曜日に、第五小学校と中学校、29日月曜日に全幼稚園と第一小学校、第二小学校が給食を再開する予定となっております。

以上となっております。

〔金津主査〕 それでは、学校教育班及び学校給食センターの報告について、ご質問等ございますでしょうか。

(質疑)

安倍委員

1学期が無事終わりました、ほっとしております。夏休みに入ったが早いか、うれしい知らせがメールで届いて、平成16年度以来ということですのでいいなと思って、貴重な体験を3年生してくるんだなということで、陰ながら応援したいと思っておりました。

一般行事報告の令和5年度入試制度保護者説明会とあったのですが、こちらは2年前に比べたら具体化されていて、説明を聞いていて分かりやすくなったとは思ったのですが、やはりそれは、私が3番目の子だったからということで、聞いていたことが「そうだった」「ああだった」と思い出されたからであったようで、やはり終わった後に「分からない」という声がすぐその場で上がったのが事実だったんですね。。

なので、この会を開く前に、やはり学校のほうでももう少し具体的に分かるように、やはり1回聞いただけでは親のほうも多分分からないことだらけで、親も勉強しなければいけないというはあるのですが、この時期にこういうことを県の方が来てくださってやるというのは、定例となっていると思うので、それまでに2年生ぐらいからでも、保護者が集まる機会に学校のほうがしっかりそれにすり合わせていけるような説明を、もう少し必要なのかなというのを感じました。

学校のほうに、機会があったときに言ったことがあったのですが、次年度もそういう形での入試は変わらないと思うので、同じようなことが起こらないようにと思わせていただきました。お願いいたします。

佐藤委員

それではお話しさせていただきます。

まず、大雨の対応と、それから第1学期間、大きな事故等、けが等もなく、子どもたち生き生きと過ごせましたこと、教育長先生はじめ教育委員会の皆様、そして各学校の先生方に感謝しているところです。また、保護者の皆様にもご協力いただいたということで感謝しているところです。

それがまず1点目です。2点目としては、ホームページをいろいろ拝見させていただいて、その中で第一小学校さんは危険箇所とかもアップしているので、休みに入って子どもたちの生活への危機感といいますか、注意してくださいという発信になるため、とてもいいことだなと思いました。

それから、中学校さんは中総体や吹奏楽での活躍ということとか、それから幼稚園さんだと大掃除をしている様子とかが出ていたので、小さいときからこういうふうにな何をすべきか、環境整備、自分の生活を快適に過ごすための手法を身につけさせることは大変いいことだと思いました。

それから、もみの木教室ではいろいろポテトやカレーを作り、カレーパーティーをしたということで、とても笑ましく読ませていただきました。ただ一方でカレーパーティーのときはボランティアさんとか人形劇コンクールのサークルだったり、それから教育委員会の皆様にもお手伝いいただいたということが書いてあったので、そういう方々の支援といいますか、そういうところでもみの木に行っている子どもたちの心の成長にもつながっているのかなと感じたところでございました。

3点目はお願いで、1ページの松島こども英語ガイドオリエンテーションが行われたというところで、これに対してお願いなのですが、このこども英語ガイドは松島町の特長だと思います。ですから、松島町の持つすばらしさを子どもたちが発信していくこの機会に、子どもたちがどういうふうに表示したいのかというのをぜひ大切にさせていただいて、その子その子で持っている特性といいますか、表現力とかいろいろあると思いますので、英語での一人一人の表現力が少しでも

高まっていけるよう、ぜひ引き出していただけたらと思います。

以上でございます。

〔金津主査〕ありがとうございました。そのほかございませんでしょうか。

それでは、続けさせていただきます。

生涯学習班よりお願いいたします。

〔千葉教育次長兼課長〕生涯学習班の報告を行わせていただきます。

本日、土井生涯学習班長が欠席のため泉田技師が出席しております。よろしく申し上げます。

初めに、行事報告をさせていただきます。4ページをお開き願います。

6月27日、日本遺産ガイド養成講座を実施しました。こちらは、観光案内を行う観光関係者やボランティアガイド等を対象としまして、20名の参加がございました。

6月30日から7月12日までは、松島まるごと学の瑞巖寺学習の各校で行う事前学習並びに現地見学になりまして、各小学校の6年生を対象として実施しております。詳細の開催については記載のとおりとなります。

7月4日には、松島第二小学校独自の松島まるごと学としまして、田中川学習を実施しました。田中川学習は、二小の脇を流れる田中川に自生する魚や昆虫、植物などを実際に、下まで下りて実際に見学しまして、採集等を行いながら学習したところでございます。

7月25日には、特別名勝松島保存活用計画策定会議が実施されまして、関係市町の町長等が出席し、改定内容の計画について意見交換がなされました。本町からは内海教育長が出席しております。

続いて行事予定になります。

8月4日、仙台教育事務所管内社会教育委員連絡協議会理事会が予定されております。こちらは事務局のほうで出席する予定としております。

8月9日、青少年健全育成松島町民会議による中学生リーダー研修会が開催されます。中学生リーダー研修会は、秋田県にかほ市との交流事業で、令和2年度、3年度の2か年、新型コロナウイルスのため中止となっておりまして、今年度、実施に向けて調整したところ、まだ対面の交流は難しい状況下であるため、オンライン交流に切り替えて実施することとしております。本町においては、松島中学校の生徒会の生徒さん8名が参加予定でございます。

以上でございます。

〔金津主査〕続きまして、中央公民館お願いします。

〔赤間館長〕はい。5ページをご覧ください。

まず行事報告になります。

7月8日、健康体操教室、15名参加で行われました。

26日は、毎月実施しております巡回図書となっております。

続きまして行事予定でございます。

7月30日ですが、午前中、親子工作教室が実施されます。今回は5組参加で、苔テラリウムということで、苔を使ったものを作りたいと思っておりました。

次に、午後からになりますが、仙台教育事務所管内の社会教育拠点施設訪問ということで、公民館のほうに教育事務所から2名の方が来館予定となっております。内容につきましては、その下に実施予定となっている事業で、夏祭り盆踊り～みんなで踊れるようになろう～講習会を視察することになっております。

こちらの講習会につきましては、今のところ親子合わせて60名参加の希望がございました。いろいろBBIのほうと一緒にしまして、子どもたちが喜ぶような趣向を今のところ練っております。こちらは松島町芸術文化協会さんの協力の下、実施されることになっております。

次に8月6日になりますけれども、14日まで勤労青少年ホームの図書室におきまして子どもの本移動展示会を実施します。県図書のほうから、昨年購入した本の中から200冊ほどお借りしまして、図書室の中で展示、閲覧できるような仕組みとなっております。また、8月中におきましても巡回図書を利用したいと思っております。

本日、チラシのほうを配らせていただいたのですが、7月30日の盆踊りのチラシがございまして。内容はこういった内容となっておりますので、教育委員の皆様も、もしお時間がございましたら、どうぞ参加していただければと思います。

あと少し早いのですが、8月28日曜日、陸上自衛隊のふれあいコンサートを実施予定となっております。こちら昨年コロナの影響があって、自衛隊のほうからキャンセルの話がありまして、ようやく実現を迎えるような形になっております。本日、同日演奏する曲目についても、裏面になりますけれども一覧をつけておりますので、こういった曲目を演奏する予定になっております。

以上です。

〔金津主査〕 それでは、生涯学習班及び中央公民館等の報告につきまして、ご質問等ございますでしょうか。

(質疑)

安倍委員

はい。報告ありがとうございます。

生涯学習班のまるごと学の田中川学習ですか、大雨で結構、雨がひどかった川ですよ。その前にそういった貴重な学習ができてよかったなと思っていました。

そして、これからの予定のほうに、2年お休みをしていたにかほ市さんとの交流が動き始めるということで、以前も班長にお話はしましたが、ありがたく思っています。やはりここで切れてしまったのは、やはりせっかくの姉妹都市なのに、そういうところで、今まで築き上げてきたり勉強になるところがお互いにあった部分が、こういう形で少しずつ踏み出すことができ、いつかまた対面でできるときまでの間に、オンラインでも、対面ではなくても、やはり得られるものというのは大きいと思うので、こういったことを前向きに検討していただいたことに感謝を申し上げます。

以上です。

〔金津主査〕 そのほかございませんでしょうか。

### (3) 教育長報告

〔金津主査〕 続きまして(3)教育長報告につきまして、内海教育長お願いいたします。

〔内海教育長〕 はい。それでは私の方からまず1つ、9ページをご覧ください。

令和5年度から、第五小学校が複式学級になるというお話でございます。それで、令和5年、2年と3年が複式学級、令和6年には上に上がりますので3年と4年学級、令和7年度には2つの複式学級が出てくるという話でございます。既にもう数年前からこれは予測されていたことなので、令和5年、令和6年度については複式学級を回避する方法を学校と校長先生と模索しているので、来年は回避します、再来年も回避します。ただ、7年度については要検討していかないと駄目かなと思っております。

回避する理由は、2年生で九九が出てきます、一番算数の基礎となる。それから2年生では生活科です。3年生になると、生活科という名称は使わないで理科と社会になります。その複式学級2つミックスしたのを1人で教える先生がなかなかないだろう、困難だろうと。あと子どもたちにとってもなかなかつらいだろうということで回避していきたいと考えております。

それで、今度は8ページをご覧ください。

このことについては、まず真ん中の3番目をご覧ください。

7月20日、校長先生より職員に周知しております。校長先生ではなくて、私が周知しました。出向いてこのようになるという話をしました。先生方は初めて聞いた感じでしたが、複式を回避するよという話で少し安心していただけたのではないかと考えております。

7月22日は、学校運営協議会委員さんとPTA役員さんに説明いたしました。それで、そういう事実については理解していただいて、これからコミュニティスクール、つまり学校運営協議会の委員さんと、この複式について特に7年度以降の対応について検討していこうという話になっております。

それから夏休み明け、保護者会を開いてもらいまして、保護者のほうに私から説明します。5年と6年は回避しますよと、7年度以降はPTAの皆さん、それから子どもたち、それから学校運営協議会の委員さんとお話ししながら、一番いい方法を取っていきたいですという話を進めていこうと考えております。

8ページの4番をご覧ください。

複式学級の回避の方法にはいろいろあって、簡単ではないですが加配をもらう形。それから兼任として、教頭先生が学級を持つ、業務主任さんが学級を持つ、そういう形。

それからもう一つは小規模特認校制度ということで、五小の学区を外して、五小の環境、学力の高いところに行ってみたいというようなことがあれば、学区を外して一小、二小、町内から行けるという形。そういった方法で回避していきたいと考えております。

これは町長とも確認をしておりますので、コミュニティーがしっかりしている第五小学校は、やはりなくすという考えは今のところ私も町長も持ち得てないので、頑張って何とか五小を盛り立てていきたいなと思っておるところです。

それで、今のところは特にびっくりするような反応はなく、回避するということで、まず安心したということなのですが、7年度まで2年間あって検討していくということなので、それほど動揺は見られないとは思っておりますが、丁寧に保護者の方々に説明していきたいなと考えております。

こちら取扱いは十分注意していただいて、よろしくお願ひします。

それから2つ目は、松島町子ども読書活動推進計画というのを策定いたしました。いろいろな方々のご協力をいただきながら、これからの読書活動を進めていくに当たっての、基本的なスタンスをここに書いておきました。これが、これに沿ってというよりは、これを見ながらやるのですが、加除修正しながら取り組んでいきたいと申します。ページ数が多いのですが、ホームページとかに上げていき、閲覧管理したいなと思ひますので、後でゆっくりご覧になっていただければと思ひます。

それから最後になります。今日、先ほどお話しした全国学力状況調査の結果が出ました。宮城県が算数で最下位という話で、私もそこまで落ちたのかと思ひてはいたところなのですが、ただ松島第二小学校、第五小学校の躍進が目覚ましいという結果が出ておりました。

それから、子どもたちの活躍を少し載せてみたのですが、まず英検ですが、4級・5級は一次試験で全員合格です。3級から準2級は一次試験で、これもまた全員合格。ただし3級から準2級までは2次試験があったのですが、実はこれ、2次試験も全員合格ということで、校長先生は、基本的には3級以上を学校の5割取りなさいという話なのですが、5級・4級を取らず3級一発ということはありませんので、「かなり子どもたちが英語の力をつけて、物おじせず、こういうのに果敢に挑戦しているという証ではないか」と校長先生に伝えたら「そうだと思います」というようなことでお話がありました。

そのほかに準2級とか3級を既に取っている子もいますので、数とすればもう少し増えていくと思ひます。

それから次のページには、第43回少年の主張祝優勝ということで、これも主催者側の知り合いからすぐ電話が来て、すばらしい発表だったよという話で、英語で身を立てたいという中身だったそうです。

それから下の吹奏楽部の金賞ですね、県大会に行く金賞です。これのすごいところは、少人数編成であるんだけれども、非常に難しい楽曲にチャレンジして金賞を取ったのと、プラス特別支援学級の子も入っている中での金賞だったということで、すごいことだと思ひていました。

それからもっとランダムに言いますと、今度はサッカー東北大会、福島県というのは、これも何年ぶりかと。それから、いじめCMチャレンジは小中4校とも全部の学校が出て県に応募しました。

あと小学校は算数チャレンジ、実施している二小はやはり算数が強いです。

それから人権教室をやったということが河北新報に載ったり、それから、先ほど子ども英語ガイドのお話がありましたけれども、これが一昨日の宮城テレビで放映されたり、非常に子どもたち、文武というか、頑張っているということで、学校としても校長先生も喜んでおりました。

何年か前だと、あそこ学力が低いからと言われていたのが少し変わってきているのではないかなと、全国学力状況調査も、確実に学力が1年ごとに上がり下がりしなくなってきつつあるかなと。もう少しいろいろな面で確認し合いながら、2学期またやっていきたいと思ひます。

私のほうからは以上です。

〔金津主査〕ありがとうございました。

それでは、教育長からの報告につきましてご質問等ございませうでしょうか。

(質疑)

鈴木委員

複式というのは、どなたが決められるのですか。町の教育委員会だけでなく県の教育委員会が決定するのですか、最終決定は。（「町教育委員会です。」の声あり）

これは、複式にしないでやっていくということも可能なんですか。（「可能です」の声あり）可能なんですか。このメリット、デメリット、ここにあるのを見ながら、複式にしたほうが五小にとってメリットがあるだろうなということで決められる。（「いえ、今回は複式にするとデメリットのほうが強すぎるので…」の声あり）

では、どうして複式にしようとするのですか。

内海教育長

いえ、複式にしないようにするのです。来年度は。

千葉教育次長

教育長、学年2つで十何人とかという規定の話。

兼課長

内海教育長

説明が漏れていました。申し訳ない。2学年あわせて16人以下となると複式になってやってくださいねという話になります。これはルールです。文科省のルール。

鈴木委員

文科省のルールですね。これは従わないといけないですね。

内海教育長

いえ、そのルールはあるけれども、学校内の運用によっては複式が回避できます。だから誰かに、例えば教務主任だったり教頭先生だったり学級を1つ持ってもらおうと。

鈴木委員

従来どおりでやっていくのが望ましい、でも、今の16人以上でないというルールがある。そ

のルールにあっても、今おっしゃられたように従わないでも済むような方法もあると。でもこの資料を見ると複式にすると。（「しないです」の声あり）

内海教育長

この資料の色付きは、複式にするのではなく、複式に該当するという意味ですね。

すみません、今度資料を出すときには「該当します」と。

該当しますから、該当すると2年生の本来やる勉強と3年生がやる勉強が、1つの学級に入ってしまう。（「メリットもあるだろうけれどもデメリットもある」の声あり）はい。それで、2年生の授業を教えているときに3年生が自習になってしまう、3年生を教えるときに2年生が。極端な話、1年間の半分はどっちも自習になってしまいます。でも、来年度は複式にならないようどなたかに兼任してもらおうと。

鈴木委員

そうですね。だから、できたならば回避したいですね。

ここ、一番下に小規模特認校制度とありますけれども、これは申請すれば回避することができるということですか。

内海教育長

申請というか、これは教育委員会の中の運用があるわけです。運用の自由度があって、文科省でも全国を見るとどんどん学級数が少なくなって、少人数学級になったり複式になったり、あるいは消滅したりするので、その一助として、学区を外せば五小に来る子どもたちの数が増えるのではないかなという考え方の1つです。

ただし、増えない場合もあります。それから、増えすぎて困るというのものもあるだろうし、リスクを背負うことになります。あと第五小学校の保護者あるいは地域の方々が、それを認めるかどうか。場合によってはコミュニティーを壊してしまいますので、学校には行くけれども行事には一切参加しないと、そういうことも起こり得るので、そうなるとなかなか大変なので、その辺のところを保護者、コミュニティーの委員さんと十分にこれから検討していきたいなと思っております。

鈴木委員

分かりました。私、勘違いして。令和5年度複式学級になるということをおもひに周知しようというのじゃないですね。複式学級に該当してしまうことへの周知ということですね。

内海教育長

そうです。そして、そのときには何度も言いましたけれども回避の方法は、もう既に言ってきましたとおりです。（「了解」の声あり）

これからこういう形で、どんどんなっていくので。ただ、学力的にはものすごく高いし、地域のコミュニティーも非常にあるので、ぜひ五小は存続させたいというのが地域の思いでもあるだろうし、私自身も五小はそのまま存続していきたいと思っております。

安倍委員

ご説明ありがとうございます。私は教職員という立場ではないので、ちょっと素朴な質問なんですけれども、複式ではないほうが良いというのと五小は残していきたいというのは、もちろんその思いは同じなんですけれども、教頭先生とか教務の先生が、自分らの仕事をやりつつ教えることというのは、負担的にできるのかなというのが単純な、どうなんだろうと業務的に、というのが、ただ人数がちょっとこじんまりしているので、できるのかな、どうなのかなと思ったりしたところが疑問になりました。

でも、それをするによって回避ができるというのであれば、やはりそういうことも必要なかもしれないんですけれども、それがちょっと気になったというのがありまして、あと小規模特認校、もしこれが可能だとなった場合、やはりデメリットで地域の方がというのものもあるし、通わせたいけど、ちょっと遠いというか電車に乗って品井沼駅という形を取れる場所の方もいれば、そうではない地域の方もいるだろうしということとかもあるんだろうなと思いながら、いい案なんだろうけれども、なかなかそれを実現していくには、いろいろなものを乗り越えなければいけないだろうなという形で見えていたんですが、やはり子どもたちを一番に考えた答えを出していったらあげないといけないことだと思うので、いろいろこういう何通りかのいろいろなほうから見ていただいて、書いていただいて説明ありがとうございます。

内海教育長

確かに教頭や教務主任がやっている学校は、実際結構あるんです。それで7人の丸つけて1時間も2時間もかかるものではなくてくるので、そうするとコンパクトになって、ただ2つの仕事をやりますから、それは苦勞するんですけれども、あと皆さんでフォローし合うという学校の体制ができれば。

あと、小規模特認校制度になったら、送り迎えは保護者の責任の下という形になります。こちらからバスを出すとか、そういうのではなく、それでも五小が良いとなれば。一人一人が主役に



なれますので、30人学級じゃなくなるので。

ただデメリットもあるわけですね。そういうのも踏まえて、賛同していただくのであれば、それはまた来る可能性はあるかもしれません。

学区の変更というのも実はあるんです。だけど、学区の変更はあまり保護者にとっては非常に難しいのではないかなと。1回学区を変更していますよね。四小が五小に行くとか、四小が二小に行く、そういう形でやっているの、そこら辺のしこりがなければいいんですけども、学区の編成というのも視野には入れますけれども、話として出てくればまた考えていきたいなど。

いずれにせよ、教育委員会主導で上からトップダウンではなくて、やはり皆さんのご意見をいただきながら進めていこうということで考えておるところでした。

以上です。

小澤委員

9ページの複式で、予測で、令和6年度は小1、小2が7、8なんですけれども、その7、8が翌年持ち上がると色がついているんですけれども、令和6年は色がついていないのは。

内海教育長  
岸班長

ごめんなさい、これも説明しないと。

複式の学年に1年が含まれる場合は、8人以下になると該当することになりますので、令和6年度は該当しないことになります。令和6年度でいくと3・4年生で色分けをしているんですけれども、先ほど説明したように、ここでも教務主任や教頭先生が担任を兼任するというので、複式を解消したいと考えております。

令和10年度で色がついていないんですけれども、令和10年度の1年生と2年生が合わせると8人以下になるので、ここも複式の対象になってしまうところです。

内海教育長

色をつけるのを忘れましたけれども、こういう形になっていくということでご理解いただきたいなと思います。

それで、動きについては教育委員会の定例会でお話しさせていただきますので、今回はまず複式に該当するということに対しての動揺はあまり保護者の間では聞かれていませんので、さらに丁寧な説明をしていきたいなと思っております。

以上です。

小澤委員

昨日、福島県の広野町というところの移住定住の応援チームに入ったので、そこに行って、いろいろなところから人に来てもらうという作業を始めたんですけども、五小の地域というのは台湾との連携とか、ユニークな取組を始めていますし、この地区の魅力ある取組というのを広めて、そこにいろいろな人に来てほしいという呼びかけは、教育委員会ではなくて、町の別部署で取り組んでいらっしゃるんですか。

内海教育長

はい。五小のあたりは市街化調整区域になっておりますが、品井沼駅周辺は地区計画を定めましたので、そこら辺のPR等をすれば人が増える可能性はゼロではないと思います。

小澤委員

この間の水害のときに、品井沼の駅から線路を越えて山越えの道をずっと通ったんですけども、松島の海沿いのイメージとは違う山深いつづら折りがあって、そこがまた独特の環境なので、そういったところを好んで入ってくるような人がいれば、またこの地区の世帯とか子どもも増えて面白いのかなと思ったんですけども。町として無理やり引っ張ってこようということとはしてはいないということですか。

内海教育長  
佐藤委員

複式回避のために無理やりどうのこうのとは、今のところはしていません。

全国学力・学習状況調査についてお話をさせていただきます。

今回、昨年に続いて好成績であったということで、先生方のご指導のたまものと、あと子どもたちも頑張り、そしてご家庭での協力もあったものであろうと思います。

県全体で見ますと、本日の新聞にも掲載されていたんですけども、やはりなかなか厳しい状況でありまして、特に算数・数学については、算数については全国46位と、それから数学については35位というところで、なかなか厳しい状況であります。

小学校については、国・算・理の全てが全国平均を下回り、中学校については、国語は全国平均レベル、そして理科が1ポイント上だったと。そして数学がやはり2ポイント下だったと、全国平均より2ポイント下だったということで、やはり厳しい状況はあるかなといった中で、松島町については子どもたちの頑張り、先生方のご指導のたまものというところはあるかと思っております。

それから学習状況調査のほうで出てきたこととして2つありまして、無回答率が高い。特に記述式についての無回答率が高く、もう一つは自己肯定感が低いと。つまり、自分にはよいところ

があると思うかといった質問に対しての、県全体としては4ポイントほど下回ったという状況がありました。そういった中、松島町が2年続けて好成績をおさめた要因というのを、やはり分析していく必要があるかなと思います。

私の中では、教育長先生がご提示されてきた、板書とノートの一体化、きちんと書いてというところとか、それから家庭学習、書くことの大切さ、それからそれを発表させる、教師主導型でない子どもたちの発表力とか、そういった活動の時間を確保していくというところ、それからもう一つは家庭学習ですね。こちらのほうを徹底していくというところは、実は秋田県でも同じ取組をしているところでありまして、これが大事なのかなというところだと思っています。

つまり、新しいことではなく不易の部分だと思んですけど、そここのところを確実に、それぞれの先生方が継続してご指導くださって、そして子どもたちもとにかく学びに向かっていく。そして家庭では家庭学習を確実にして、少なくとも復習というところに力を入れて、より定着を図っていくというところが重要であるなと思っています。

いずれにいたしましても、PDCAサイクルで計画したことを実行して、そしてチェックして、そして改善を図っていく。何がよくて何が課題だったのかというところを個別最適化というところもキーワードとして出てきているところですので、それぞれの学校で分析していただいて、また子どもたちに確かな学力をつけていっていただき、将来生きていく力をつけていただきたいなと思っています。

以上でございます。

内海教育長

ありがとうございます。とにかくふだんの授業を大切に、じれないで長くきちんとやっていくのが成績の向上につながっていくようなのを、2年で裏が取れたような感じがするので、ふだんの授業を徹底していきたいと思っています。

ただ心配なのは理科。理科はきちんと実験などをやっているのかなというのは、何かちょっと不安になってきたので、2学期以降、きちんとやって子どもたちに学ばせていきたいなと思っています。

理科の実験というと、準備するというのが結構大変なので、教科書読んで終わりみたいなところだと全然くっついていけないので、そういうところをしっかりとやっていきたいなと思います。ただ、そうすると実験が出てくるというのが高学年なんですね。高学年は理科、英語、生徒指導、などなどで、高学年の先生方にどんどん負担がかかっていくかなという気はしている、別な面ですね。でも、高学年だけの免許を持っているという人はいまして、低学年の先生で低学年しかやれないんですとか言わないで、低であろうと高であろうとどこでも行くという形にしているかなといけないかなという気はしていました。

以上です。

〔金津主査〕 そのほかございませんでしょうか。

〔内海教育長〕 中学校も悪くなかったですから。言っておきますけれども中学校もよかったです。

上位というよりは、上位群あたりに入ってきているのではないかなと思っています。

以上です。

## 5. 協議事項

〔金津主査〕 続きまして、5番、協議事項に移ります。

(1) 令和4年度(令和3年度対象)松島町教育委員会教育行政点検評価報告書に係る教育に関し学識経験を有する者の知見の活用についてということで、こちらの活用につきまして、元教育委員の佐藤実さんに今年度もお願いしたいと思っています。

よろしいでしょうか。(「はい」の声あり)

ありがとうございます。では、意見書作成依頼の手続をさせていただきたいと思います。

(2) 令和4年8月定例会につきまして、日程案といたしまして8月26日金曜日午前9時から、役場3階301会議室を予定しております。令和3年度決算認定の議案審議がありますので、30分早い開会となりますが、この日程でよろしいでしょうか。(「はい」の声あり)

ありがとうございます。

## 6. その他

〔金津主査〕続きまして、6番、その他に移ります。

それでは、最後に全体を通してご質問等ございますでしょうか。

〔安倍委員〕質問ではないんですが、うちの子が言っていたことなんですけれども、朝学校に通うと二小の校長先生が、ごみを拾っているそうなんですよね。それで、うちの子が生活委員長で挨拶をする当番のときに、やはりすごい大きな声で「おはようございます」と声をかけてもらって、こっちも負けじと「おはようございます」みたいな感じになって、何かすごく気持ちがいいということを書いて、「そうだよ、先生、一小の教頭先生で会ったよね」なんていう思い出話をしながら話をしていました。そうやって朝からごみとか拾いながら、子どもたちの安全も同時に見ていただいているということ、私もしょっちゅう目にしているので、ありがたいなと思って見ていました。

以上です。

〔内海教育長〕今日あたり会うかもしれませんので、言っておきます。教育委員さんから固有名詞で指摘を受けましたということで。

ありがとうございます。

〔金津主査〕その他、ございませんでしょうか。

## 7. 閉会 午前10時55分

〔金津主査〕それでは、松島町教育委員会会議令和4年7月定例会を閉会いたしますので、閉会のご挨拶を鈴木教育長職務代理者よりお願いいたします。

〔鈴木教育長職務代理者〕非常に天候も不順な日が続きます。コロナもまたちょっと変な状況になって、最初アフターコロナかなと思ったけれども、アフターはちょっとない。

それからニュースや新聞を見ると、またロシアとかウクライナだとか。そういう、何が起こるか分からない時期、時代になったんでしょうね。

そんな中、子どもたちがたくましく、今日お話を伺って、スポーツも活発ですね。本当にすばらしい。（「ありがとうございます」の声あり）勉強もいいし英検とか、本当に先生方頑張っておられる、大変すばらしいと思います。

それから、まるごと学ですか、田中川学習いいですね、カニがいるんですよ。先ほど五小での台湾の話がちょっとあったけれども、やはりそちらのほうも本当は生涯学習あたりでも、というのは子どもたちの教育だけではなくて、住んでいる我々だって教育を受けなければならないと思っております。学校教育も大事です。でもいわゆる成年、住んでいる方々が積極的に新しい取組として、みんなでやっていってもいいのではないかな、なんて思っています。

五小さんの子どもたちが減っていく中、子どもたちが減っていくのはしょうがないにしろ、その中でたくましくすばらしく育っていくような在り方を、今教育長はじめ探っておられるということ、十分理解しました。今後ますます活動していきましょう。

どうもご苦労さまでした。（「ありがとうございます」の声あり）

〔金津主査〕以上となります。ありがとうございました。

この会議録の作成者は、次のとおりである。

教育課学校教育班 主査 金津 晶子

上記会議録が正確であることを認め、ここに署名する。

令和4年8月26日

委 員

委 員